

# ProMED-mail情報 2018年2月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
27日	E型肝炎(HEV) 日本	多発性骨髄腫の治療中であった80歳代女性が輸血でHEVに感染しその後死亡したと日赤から報告があった。輸血でHEVに感染し死亡した報告は、海外も含め初めて。女性から検出されたウイルスと同じ型が献血者から確認された。献血者は生の鹿肉を食べてHEVに感染した可能性があると考えられている。抗がん剤による肝機能低下から、感染後劇症化したとみられる。
22日	水痘 インド	インドの2大学にて水痘感染を確認。感染者の多くが寮生活者。水痘は空気感染し、高率に感染するため寮にて感染拡大したと考えられる。15歳までに罹患することが多いが、以前と異なり多くの若者が幼少期にウイルスに曝露されることがない。成人の感染は重症化するため予防のためワクチン接種を推奨。
17日	黄熱 ブラジル	黄熱による感染者407人中死亡者数は118人と健康省から発表。死亡率の高い地区はサンパウロ、ミナスジェライス、リオデジャネイロ。ワクチン接種済みは全人口の19.5%。
15日	狂犬病 米国	2018年2月13日サワロ国立公園のリンコン山脈にあるカクタスフォレントス道路でキツネに3人が襲われた。3人のうち、2人は治療を受けているが、もう1人は行方不明である。ここ数ヶ月この地域で狂犬病の複数の症例が報告されているため、未治療者に関して心配であると公園関係者は言っている。
14日	鳥インフルエンザ(H7N4) 中国	国家衛生計画出産委員会から鳥インフルエンザA(H7N4)のヒト感染を7例報告、今回H7N4鳥インフルエンザで世界で初のヒト発症例。患者は江蘇省の常州溧陽市在住の68歳女性、2017年12月25日に症状出現し、2018年1月1日入院、1月22日退院。患者は家禽との接触があり、患者と濃厚接触した者らは監視期間中、症状は認められなかった。
13日	鳥インフルエンザ(H7N9) 中国	香港保健省の健康防御センターより2018年2月12日に広東省にてH7N9のヒトの感染確定例が報告された。広東省での初症例。2017年10月より、3例のH7N9ヒト感染例、2例のH5N6ヒト感染例が中国本土で報告されており、この数ヶ月間でH5N6の鳥感染が多くの国で発生している。
11日	ノロウイルス 韓国	政府はオリンピックで2018年2月11日までにノロウイルス発生が159件に至ったと公表した。ノロウイルスは感染力があり、一般的な症状は下痢、胃痛、嘔吐と吐き気。汚染水と食物によって感染拡大し、汚染物に直接触れるまたはノロウイルスによる症状を呈している人との濃厚接触により感染する。
9日	サルモネラ グアテマラ	グアテマラの社会福祉保健省によると2018年2月6日に首都のパン屋にてサルモネラによる患者を認め、115人まで増加したと発表があった。
8日	A型肝炎 米国	モンテレー郡健康管理部より、ホームレスの間でA型肝炎が発生していると報告。ホームレスと違法薬物を使用している者の中で感染拡大していると想定される。汚染されたものを飲食するか、感染者との性交渉により感染する。
6日	ラッサ熱 ナイジェリア	健康省大臣によると、現在ラッサ熱により15の州の105の研究所以て疑似症3件、死亡31件が確認されていると発表があった。10人の医療従事者は4つの州で感染している。31件の死亡のうち、4人が医療従事者であった。
5日	A群連鎖球菌 英国	英国にてA群連鎖球菌感染症の数が過去3週間で急速に増加しており、2018年の始めと比べてほぼ2倍。2015年以降より上昇、2017年は17,350件、2016年は19,000件以上と1967年以降では最多であった。
1日	クリミアコンゴ出血熱 ウガンダ	ナカセケ地区の女兒にクリミアコンゴ出血熱(CCHF)陽性反応が確認された。その後4例が死亡、その地区の病院では死亡数が11例まで増加。CCHFの23例のうち9例が治療を受け、1例は現在も治療中。デイリースターオンラインによると、早急に措置をとらなければ感染拡大すると警告。